

令和2年度



学 校 要 覧



山形県立酒田特別支援学校

〒998-0005 酒田市宮海字新林307番地

TEL/FAX兼用

(0234) 34-2019 聴覚障がい教育部職員室

34-2026 知的障がい教育部職員室

34-2020 事務室

ホームページ：<http://www.sakata-sd.ed.jp>

E-mail：ysakatokushi@pref-yamagata.ed.jp



校章の由来

チョウカイツマを図案化し、中に
酒田の文字がある。

忍耐・克服・健やかさ・清楚の意味
が込められている。

デザイン 山形大学 染谷英五

制 定 昭和30年6月30日

沿

革

昭和23年	6月30日	酒田市十王堂町海晏寺境内に酒田聾学校兼寄宿舍として創設
25年	2月6日	酒田市幸町2-9に校舎を新築し移転
29年	4月1日	中学部を設置
38年	4月1日	幼稚部を設置
44年	4月26日	教室棟と寄宿舍が新築完了し現在地に移転
48年	4月1日	中学部に重複障がい学級を設置
平成10年	8月1日	校舎改築のため酒田市北新町、県立酒田西高旧校舎に移転
11年	12月27日	校舎改築完了し、酒田市宮海の新校舎に移転
23年	4月1日	知的障がい教育部が新設となり校名を変更し、「山形県立酒田特別支援学校」として開校
	9月7日	開校記念式典挙行
27年	3月31日	寄宿舍休舎
28年	3月31日	寄宿舍閉舎
30年	4月1日	業者委託方式給食の全校実施

学校経営の概要

本校の基本理念

校章にあるチョウカイフスマは、風雪に耐えて小さくとも明るく白い可憐な花を咲かせます。本校の子どもたちは、障がいがあってもチョウカイフスマのように明るくたくましく生活しています。

本校は、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を通して、子どもたちに明るく朗らかに、たくましく生きる力を育てます。

そのために、子どもが主役でみんなが元気で明るい学校づくりを推進します。

本校の特徴

- 聴覚障がい教育と知的障がい教育の両部門を担当する学校です。
- 教育相談や幼保、小・中・高等学校への支援等、地域の特別支援教育のセンター的役割を担う学校です。

本校の教育目標

学びを楽しみ、よりよく生きる人を育てる

～「やさしさ」を大切に、エビデンス（根拠）のある、わかりやすく効率的な学校・学部・学級経営～

【めざす子ども像】

- 明るく元気に楽しく学べる子ども <いのち・健康>
- 自分のことに自分で取り組む子ども <まなび・自立>
- まわりの人と仲良くする子ども <つながり・共生>

【めざす学校像】

- 子どもが確かに成長する学校 … 「子どもが主役」の楽しい学校
- 働きがいのある学校 … チームワーク良く、認め合い、学び合う学校
- 地域と仲良くする学校 … 地域に開かれた学校
- 安全・安心な学校 … 保護者が安心できる、防災意識の高い学校

経営の方針

全教職員が「聴覚障がい教育」「知的障がい教育」の2障がいに対応する特別支援学校であることを自覚し、自らの専門性を高め、幼児児童生徒、保護者との信頼関係を基盤として、個別的教育支援計画・個別の指導計画に基づく指導を行い、教育目標の達成及び幼児児童生徒が確かに育つ学校となるように努めます。

1 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を実施します。

- 幼児児童生徒の可能性を最大限に伸ばすよう、個別的教育支援計画・個別の指導計画により、学びの一貫性・継続のある、切れ目のないきめ細やかな教育を行います。
- 安全で快適、かつ教育効果があり、合理的配慮の整った教育環境を整備します。
- インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえ、交流及び共同学習を推進します。
- 自立と社会参加に向けて、保護者、地域、関係機関との連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。

2 地域の特別支援教育のセンター的役割を果たします。

- 地域のセンター的機能をさらに発揮するために「就学支援センター」を開設します。
- 酒田市教育局と遊佐町教育委員会と連携し、「地域の幼保・小・中・高等学校への支援」「通級による指導」「就学に関わる教育相談等」を行い、地域の特別支援教育のセンター的機能を発揮します。
- 学校公開や公開授業研究会・公開研修会等を通して、聴覚障がい教育、知的障がい教育の理解推進、研修の場を提供します。

経営の重点

1 専門性の維持・向上

校内研修会を充実し、聴覚障がい、知的障がい教育の指導力向上を図ります。また、学び合う教職員集団をめざします。

2 保護者との連携

保護者と連携して子どもの成長を促すため、一人一人の成長と課題、本校の教育についての説明責任を果たすとともに、学校経営説明会を開催し、学校経営について周知します。

3 早期からの進路指導

卒業後の生活を見据え、キャリア教育の考え方を射踏まえ個別的教育支援計画を活用し、早期から進路指導を推進します。

4 理解・啓発

交流及び共同学習や学校公開等を通して、本校の実践や幼児児童生徒の様子を知らせ、「就学支援センター」等の教育相談のセンター的役割を周知します。

5 関係機関との連携

就学支援センターや相談部を中心に市町村教育委員会、児童相談所、県立子ども医療センター庄内支所、酒田市発達支援室、はまなし学園、放課後デイサービス事業所等関係機関との連携を進めます。

6 働き方改革

定時退校日の設定、会議の精選等の働き方改革の取組を推進し、超過勤務45時間以内をめざします。

【聴覚障がい教育】

- 1 コミュニケーション能力の育成
個に応じた手段でコミュニケーションを高め、積極的に他の人々と関わって表現し、伝えようとする心を育てます。
- 2 学力の定着を図る教育課程の整備
的確な実態把握のもとに教材研究と指導法を工夫し、学力の定着と伸長を図ります。
- 3 聴覚活用と豊かな言語生活に向けた支援
一人一人が聴覚を十分に活用し、豊かな言語生活ができるようになります。
- 4 幼稚園・保育園等への幼稚部の周知、入学案内の作成
就学支援センターを活用して周知を図ります。
- 5 読書活動の推進
本に親しむ活動を大事にし、広い知識と豊かな心の育成を図ります。

「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を行います。

【知的障がい教育】

- 1 生きる力の育成
生活する力、自ら進んで取り組む力、仲間と一緒に活動する力を育てます。
- 2 適切な教育課程の編成と実践
生活単元学習や作業学習等「各教科等を合わせた指導」を中核として教育課程を編成し、指導の充実を射図ります。
- 3 学部間で一貫性のある教育活動
小学部・中学部・高等部を通して継続性・一貫性のある教育を行います。
- 4 一人一人に応じた生活指導の充実
集団の中で一人一人がより良く生きるための生活指導の充実を図ります。
- 5 個々に応じた切れ目ない支援
個々の発達段階、生活年齢、学習経験等による多様な教育的ニーズに応じた支援を行います。

「知識・技能」「思考力・判断力・問題解決力」の3つの観点から、主体的に学習に取り組む態度を育成します。

学校研究主題「子ども一人一人が確かに育つ授業づくり」（2年次）

教職員の構成・幼児児童生徒数・出身地別幼児児童生徒数

1 教職員の構成

(5月1日現在)

	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	実習教諭	事務	栄養士	学校技能員	介助員	看護師	非常勤看護師	非常勤講師	授業補助員	計
男	1	1	18	0	2	1	3	0	4	1	0	0	0	1	32
女	0	1	33	2	4	1	1	1	0	1	2	0	1	0	47
計	1	2	51	2	6	2	4	1	4	2	2	0	1	1	79

2 幼児児童生徒数

(5月1日現在)

		幼稚部				小学部								中学部					高等部					合計
		3歳	4歳	5歳	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	重複	計	1年	2年	3年	重複	計	1年	2年	3年	重複	計	
教育 部	男子	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0						2
	女子	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1						4
	計	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	1						6
教育 部	男子					4	2	4	5	1	3	6	25	2	4	6	6	18	8	4	7	6	25	68
	女子					0	0	1	1	1	3	3	9	2	1	0	4	7	1	2	4	3	10	26
	計					4	2	5	6	2	6	9	34	4	5	6	10	25	9	6	11	9	35	94
合 計		0	2	0	2	4	4	5	6	2	6	10	37	4	5	6	11	26	9	6	11	9	35	100

3 出身地別幼児児童生徒数

(5月1日現在)

	酒田市	遊佐町	鶴岡市	庄内町	新庄市	金山町	河北町	天童市	合計
幼稚部	1	0	0	0	0	1	0	0	2
小学部	31	5	0	0	1	0	0	0	37
中学部	21	2	2	0	0	0	1	0	26
高等部	29	5	0	0	0	0	0	1	35
合 計	82	12	2	0	1	1	1	1	100

主な行事

- 4月10日(金) 入学式
 4月25日(土) 授業参観・PTA総会
 5月19日(火) 聞こえにハンディのある
 子どもに関する研修会
 5月30日(土) 酒特大運動会
 7月7日(火) 学校説明見学会
 7月14日(火) 知的部高等部バザー
 7月16日(木) 中学部さかとく7月市
 7月22日(水) 1学期終業式
 8月20日(木) 2学期始業式
 9月5日(土) 遊佐町ソーデーマーチ
 9月16日(水) 中学部修学旅行(～18)
 9月30日(水) 高等部修学旅行(～10/2)
 10月8日(木) 小学部修学旅行(～9)
 10月31日(土) 酒特フェスティバル
 11月17日(火) 授業参観
 12月11日(金) 公開授業研究会
 12月24日(木) 2学期終業式
 1月7日(木) 3学期始業式
 2月5日(金) 知的部高等部バザー
 2月9日(火) 幼・小・中入学説明会
 2月10日(水) 中学部さかとく2月市
 2月19日(金) 知的部高等部入学者選考
 3月1日(月) 知的部高等部合格者発表
 3月12日(金) 修了証書・卒業証書授与式
 3月15日(月) 修了式
 3月17日(水) 高等部入学説明会

各学部の教育課程

■ 聴覚障がい教育部

<幼稚園>

	月～金
～ 9:30	登校
9:30～11:00	学級
11:00～12:00	合同
12:00～13:00	給食
13:00～13:30	合同
13:30～14:15	自立活動
14:30	下校

<小学部2年>

(単一障がい学級)

	月	火	水	木	金
	～8:20 登校				
朝	補聴器点検	学級	読書	学部朝会	学級
1	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	算数	算数	算数	算数
3	体育	図工	体育	道德	体育
4	国語	図工	国語	音楽	音楽
	給食・昼休み				
	チャレンジ		清掃	チャレンジ	清掃
5	生活	国語	生活	生活	国語
6		自立活動		学級活動	自立活動
	火・木・金 月・水		帰りの会	15:05 14:15	下校 下校

<中学部1年>

(重複障がい学級)

	月	火	水	木	金
	～8:20 登校				
	補聴器点検・朝読書				
1	自立活動				
2	国語	数学	国語	数学	国語
3	生活単元学習／作業学習				
4					
	給食・昼休み				
5	生活単元学習	保健体育	音楽	総合的な学習	自立活動
6	日常生活の指導				
	15:15 下校				

= 時間割表の例 =

年間授業日数 202日（新入生・卒業生 201日）

知的障がい教育部

<小学部 1 年>

（単一障がい学級）

	月	火	水	木	金
	～8：45 登校				
1	日常生活の指導（着がえ・朝の会・係活動）				
2	国語／算数 ※重複障がい学級は自立活動				
	チャレンジタイム	集会活動	チャレンジタイム		
3	生活単元学習				
4	音楽	体育	音楽	体育	生活単元
	日常生活の指導（給食）				
	昼休み				
5	日常生活の指導（帰りの会）				
	14：00 下校				

<小学部 4 年>

（単一障がい学級）

	月	火	水	木	金
	～8：45 登校				
1	日常生活の指導（着がえ・朝の会・係活動）				
2	国語／算数 ※重複障がい学級は自立活動				
	チャレンジタイム	集会活動	チャレンジタイム		
3	生活単元学習				
4	生活単元学習				
	日常生活の指導（給食）				
	昼休み				
5	体育	音楽	体育	音楽	生単
	日常生活の指導（帰りの会）				
	14：30 下校				

<中学部 1 年>

（単一障がい学級）

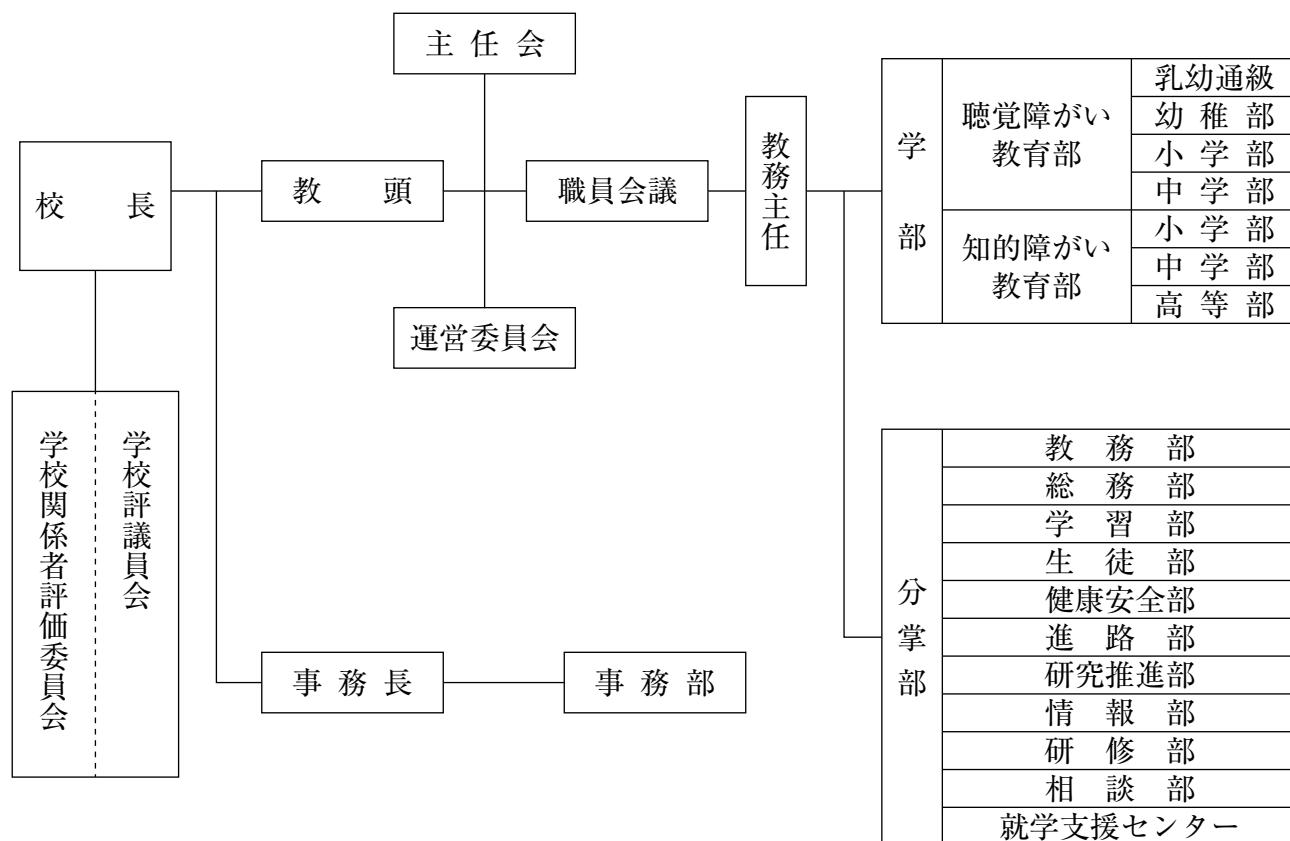
	月	火	水	木	金
	～8：45 登校				
1	日常生活の指導（着がえ・朝の会・係活動）				
2	国語／数学 ※重複障がい学級は自立活動				
	スポーツタイム				
3	生活単元学習／作業学習				
4					
	日常生活の指導（給食）				
	昼休み				
5	生活単元学習	保健体育	音楽	生単／総合 (クラブ)	保健体育
6	日常生活の指導（清掃・着がえ・帰りの会）				
	14：50 下校				

<高等部 1 年>

（単一障がい学級）

	月	火	水	木	金
	～8：45 登校				
1	日常生活の指導（着がえ・スポーツタイム・朝の会）				
2	国語／数学 ※重複障がい学級は自立活動				
3	作業学習				
4					
	日常生活の指導（給食）				
	昼休み				
5	生活単元学習	総合 (クラブ)	保健体育	音楽	
6	日常生活の指導（清掃・着がえ・帰りの会）				
	15：00 下校				

運 営 組 織



<各委員会>

委 員 会 名
学校保健委員会
医療的ケア安全委員会
初任者研修校内実施委員会
高等部入学者選考委員会
幼稚園入学検討委員会
衛生委員会
校内倫理委員会
安全運転者会
教科書選定員会
情報管理委員会（情報部内）
防災対策委員会（健康安全部内）
給食・食育委員会（健康安全部内）
アレルギー対応委員会（健康安全部内）
いじめ防止対策委員会（生徒部内）
プール管理員会（健康安全部内）
校内教育支援委員会（相談部内）
校内委員会（相談部内）

特別支援教育のセンターとして

☆いつでもご相談ください！

名 称	内 容	問い合わせ先
乳幼児定期教育相談 (ひよこ組)	聴覚に障がいのある乳幼児（０～２歳児）の指導や保護者への支援を行います。	聴覚障がい教育部 (0234) 34-2019
通級による指導 定期教育相談	聞こえや発音・ことばに課題のある幼児、小・中学生を対象とし、指導を行います。	
教育相談	発達や療育、就学に関する相談や支援を行います。	本校 (0234) 34-2019 (聴) (0234) 34-2026 (知)

☆学校・幼稚園・保育所の先生方を支援します！

名 称	内 容	問い合わせ先
特別支援 巡回相談事業 (山形県の事業)	特別支援学級や高等学校、幼稚園・保育所等の担当者を対象に相談や支援を行います。	本校 (0234) 34-2019 (聴) (0234) 34-2026 (知)
	小学校、中学校の通常の学級担任を対象に相談や支援を行います。	庄内教育事務所 (0235) 68-1982 最上教育事務所 (0233) 29-1437

進 路 状 況

○聴覚障がい教育部中学部

	～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	計
進学	高等学校（公私立）	1	0	2	(卒業生なし)	3
	山形県立山形聾学校高等部	2	2	0		4
	宮城県立聴覚支援学校高等部	0	0	0		0
	筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部	1	0	0		1
	山形県立鶴岡高等養護学校	1	0	0		1
	山形県立鶴岡養護学校高等部	1	0	0	1	2
	山形県立酒田特別支援学校高等部	2	0	0	0	2
就職	0	0	0		0	0
その他（自宅等）	0	0	0		0	0
計	8	2	2	0	1	13

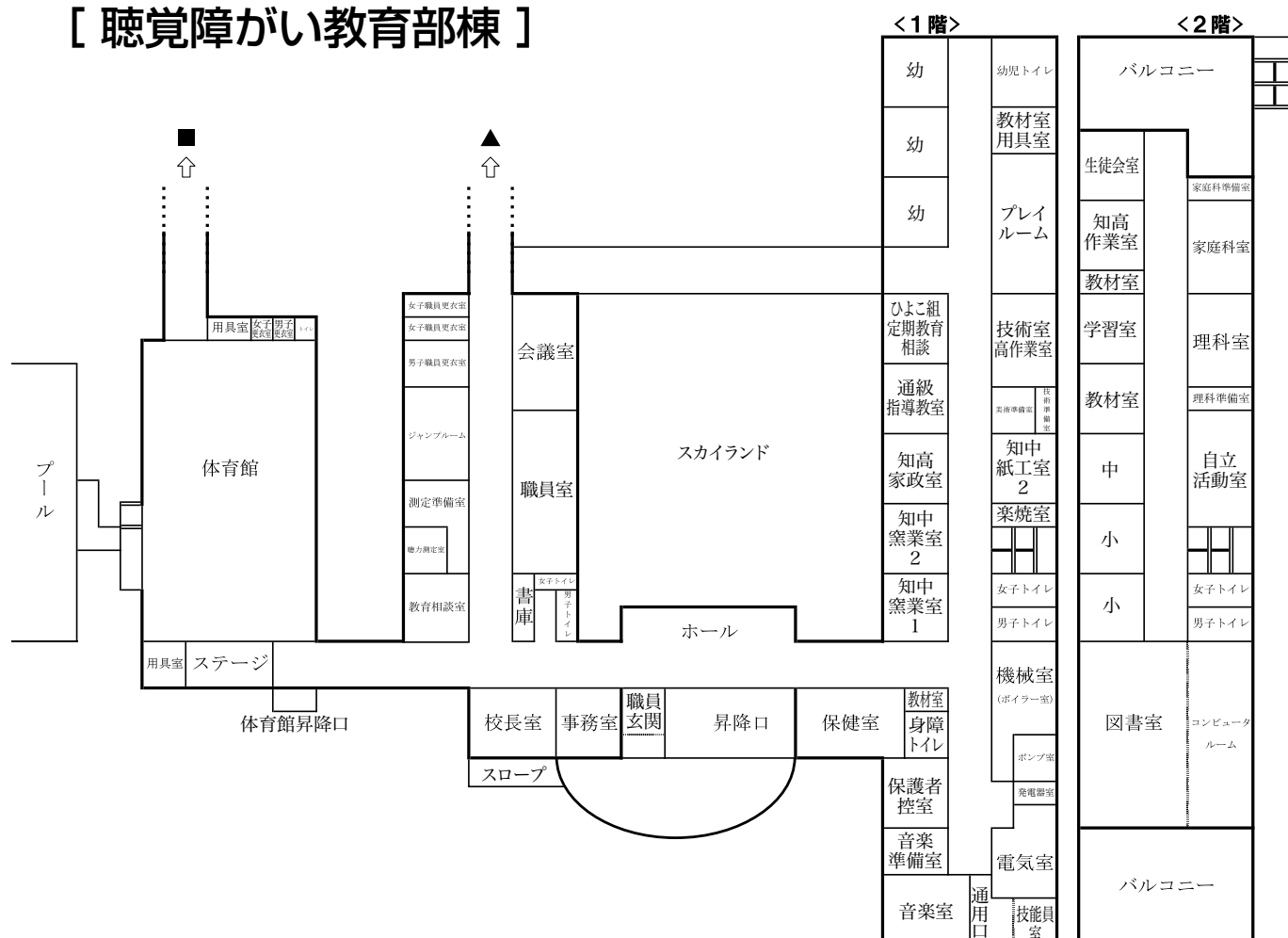
○知的障がい教育部高等部

	～H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	計
一般企業・事業所	5	2	1	0	1	9
就労移行支援事業所	7	2	1	3	1	14
就労継続支援A型事業所	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型事業所	2	0	0	1	3	6
自立訓練施設（機能訓練・生活訓練）	6	2	0	0	1	9
生活介護施設	4	6	4	4	2	20
施設入所	4	1	0	0	0	5
進学	0	0	0	0	0	0
その他（自宅等）	2	0	0	0	0	2
計	30	13	6	8	8	65

校舎案内図



〔聴覚障がい教育部棟〕





齋藤 勇 作曲
海鋒 義美 作曲

鳥海に

けだかを

染めつけて

ぼくたちは

伸びてゆく

ちちはの

この朝も

学校に

ぼくたちは

くぐりゆく

くじけずに

松の
いろ

植えつけて

ぼくたちは

伸びてゆく



■ 酒田特別支援学校交通案内

